

2020年10月30日

JR九州エージェンシー株式会社

福岡2大商圈「天神・博多駅間」を走行するJR筑肥線305系に
車内サイネージ「**トレインチャンネル福岡**」が登場！！
～2020年11月より本稼働開始～

JR九州エージェンシー株式会社では、福岡市地下鉄1号線に相互乗り入れするJR筑肥線305系電車において広告用サイネージ機器（通信式）の稼働試験を行って参りましたが、11月1日より「トレインチャンネル福岡」として正式に有料広告の配信を開始することとしました。

これまでJR九州の列車内モニターでは、事前設定された停車駅情報・路線図などが放映されてきましたが、通信式の「トレインチャンネル福岡」では放映データの逐次更新が可能のため、広告はもちろん最新のニュース・天気予報などもお楽しみいただけるようになります。

今回導入した機器は、JR東日本グループの株式会社総合車両製作所（J-TREC）と株式会社ジェイアール東日本企画（jeki）が開発した「後付け式車内ビジョンシステム（TrainViewer+K/トレインビューワープラスK）」という製品です。

この機器は既存の車両に「後付け」で設置することを目的に開発され、JR東日本新潟支社管内で先行導入されているものに一部改良を加え、JR九州エンジニアリング株式会社が取り付け工事を担当しました。

最大のメリットは、比較的容易に「後付け設置」できる点、および民生部品の活用により従来の「新車組み込み式」製品と比較して大幅なコスト低減を図れる点にあります。

また通信やディスプレイなど一部技術が進歩しても各部品（民生部品）の個別交換で対応可能なため、投資効果も高く、昨今の「サステナブル志向」に沿った広告機器となっています。

当社は今後も広告媒体のデジタル化を推進し、情報提供の幅を拡げながら皆様により高い関心をもっていただける鉄道広告づくりに取り組んで参ります。



■媒体概要

1. 商品名 : 「トレインチャンネル福岡」
2. 導入車両 : JR 筑肥線 305 系通勤型直流電車 計 6 編成 (1 編成=6 両)
3. 放映区間 : 福岡市地下鉄 福岡空港駅～姪浜駅間
JR 九州筑肥線 姪浜駅～西唐津駅間
※福岡市地下鉄と筑肥線は姪浜駅にて相互に直通運転しています。
※放映区間は、列車毎の運転区間と同様です。
4. 導入面数 : 計 288 面 (1 両につき 8 面) ※各扉上に 1 面ずつの設置となります
5. 画面サイズ : 17 インチ (フル HD)
6. 稼働開始 : 2020 年 11 月 1 日
7. 放映内容 : 広告、ニュース、天気予報など (1 ロール最大 20 分)
8. 広告料金 : 1 週間掲出の場合…1 ロール中 1 本掲出で ¥75,000～ ※1 本は 15 秒

■情報番組放映 (ニュース・天気予報等の情報番組を放映します)

Go To 利用、延べ 1689 万人

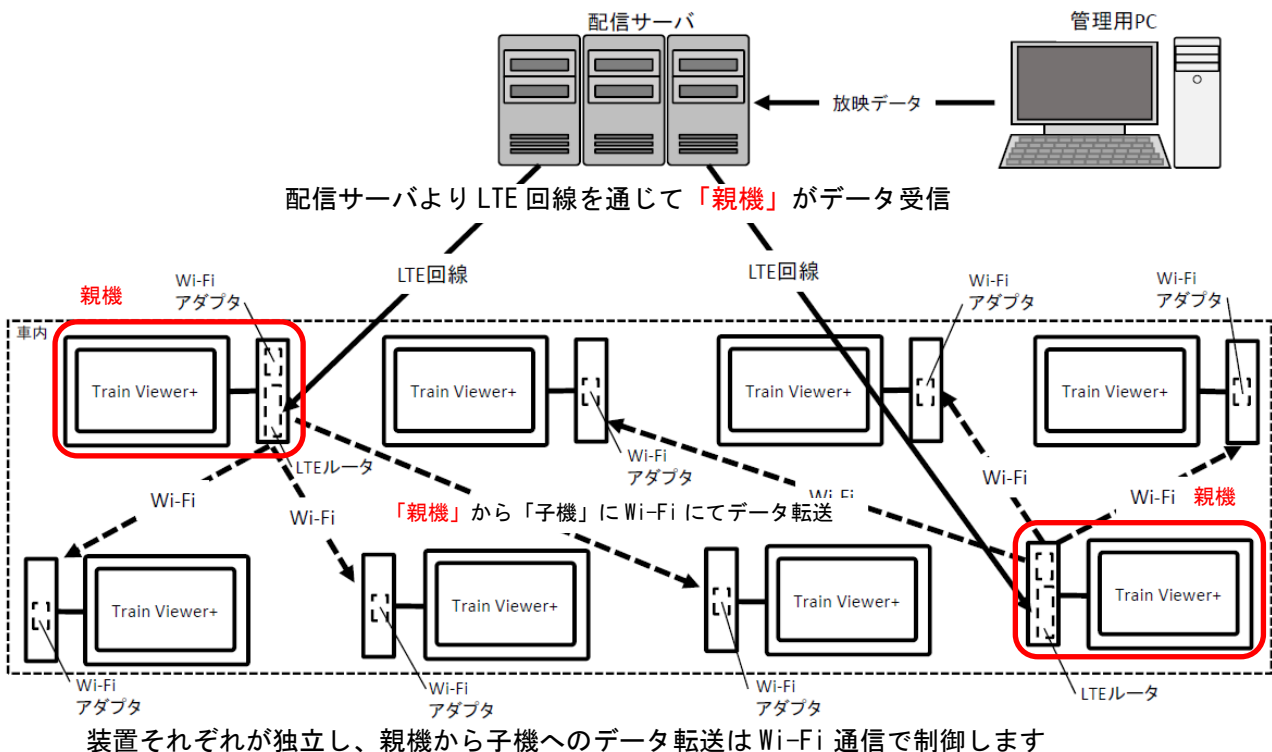


観光庁は 6 日、「Go To トラベル」で 9 月 15 日までに宿泊した人は、少なくとも延べ 1689 万人だったと速報値を発表。割引支援額は少なくとも 735 億円だった。

10/6 22:46 



■取付・通信概略図 (1 両あたり 8 面) ※1 両につき親機 2 台、子機 6 台配置



(報道機関からのお問い合わせ先) JR九州エージェンシー(株) 交通広告本部
担当: 西島・石橋 TEL 092-481-5890